

SC活動実績報告書

【4月から8月までの報告】

1. 内容別相談活動 <延べ数を記入>

種 類	子ども	保護者	教職員 ※1	合計
①不登校	31	30	132	193
②いじめ問題	1		1	2
③暴力行為		1	1	2
④児童虐待				0
⑤友人関係	44	15	95	154
⑥貧困の問題				0
⑦ヤングケアラー	2		6	8
⑧非行・不良行為			8	8
⑨家庭環境(④、⑥を除く)	25	11	77	113
⑩教職員との関係	12	1	38	51
⑪心身の健康・保健 ※2	63	29	235	327
⑫学業・進路	13	7	64	84
⑬発達障害等	29	8	78	115
⑭その他	30	2	52	84
合 計	250	104	787	1141

2. その他の活動<延べ数を記入>

活動内容	合 計	
給食時や休み時間の児童観察	263	※1:教師とのコンサルテーション、情報交換(短時間のものを含む)
心理に関する授業 ※3	4	※2:精神疾患、PTSDなどを含む。
相談室開放や校内適応教室での関わり	4	※3:教員と一緒に心理に関する授業を実施した数を記載する。
校内委員会・部会・会議などへの参加	12	教員が授業を実施するにあたり、心理の側面から助言した場合も含
教員研修会・現職教育	2	※4:関係機関との情報交換、他機関への紹介などを含む。
校外専門機関などとの連携 ※4	1	
広報活動(便りの作成など)	14	
保護者対象の講演会	2	
その他	42	
合 計	344	

※その他の活動について、具体的な手立て等を記入してください。また、他校に参考になりそうな実践があればこ

・ 授業観察、下校見守り、清掃参加、全員面談、WISC実施、家庭訪問実施、

・ 本校においては、緊急支援ということで体制を組み、その際スクリーニングを中心とした活動をさせていただきました。まず、「こころと身体のアナログ」を作成し、アンケートの実施を行いました。アンケート項目の中に、「すぐに相談したいことがある」「すぐにではないけど、相談したいことがある」「今は相談しなくていい」という項目を設けました。緊急支援において、直接被害を受けた生徒の方たちへのサポートと同時に、サポートが手薄になりがちな生徒へのアプローチとしては有効であったのではないかと考えられます。また、アンケート実施後に全校生徒へのスクリーニングを実施しました。本校は比較的生徒数が少ないため、実施することに大きな支障なく、実施することができました。

○カラフル相談件数(8月末～11月現在) 23件